



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第51回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第51回全国研究発表大会は、平成25年12月7日（土）、8日（日）に広島経済大学にて開催されます。つきましては、多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。何卒宜しく願い申し上げます。

記

開催日：平成25年12月7日（土）、8日（日）

開催場所：広島経済大学

〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

<http://www.hue.ac.jp/>

連絡先：広島経済大学 村山 秀次郎

TEL：082-871-1000（代表） E-Mail：sj-mura@hue.ac.jp

統一論題：「ビッグデータ時代の人材育成と経営システム」

基調講演：「ビッグデータ時代の人材育成と経営システム」

NTT データ ビッグデータ・ビジネス推進室 部長 中川慶一郎 氏

特別講演：「地域の特色を生かし・特産品をつくり、それを活かすニュービジネスの展開」

有限会社 平田観光農園 代表取締役会長 平田克明 氏

参加費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生会員 3,000 円（当日支払いは 1,000 円高）

非会員の学生は当日払いの学生会員と同額の 4,000 円

懇親会費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生 3,000 円（当日支払いは 1,000 円高）

昼食：7日（土）は学内の食堂が利用可能です。8日（日）は学内にコンビニ、近くにイオンモールがありますので当日ご案内します。

宿泊等：JR広島駅周辺および中心街など30～60分圏内に多くのホテルがございますのでご利用下さい。

参加申込：本 JAMS NEWS に同封の振込用紙にて、11月29日（金）までに上記金額をお振り込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

■発表者の方へ（会場設備について）

すべての発表会場には備え付けの PC（Windows7, Office2010）とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用ください。デジタルデータ（USB フラッシュメモリー、CD-R）をお持ちください。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になりますので準備に時間がかかります。

■大学院生の方へ（学生発表優秀賞について）

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい（もし、ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい）。

- ・学生セッションの発表は、原則として正会員（一般的には指導教員）との連名とし、ファースト・オーサーは学生とする。
- ・学生発表優秀賞の受賞対象者は、ファースト・オーサーの学生のみとする。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とする。

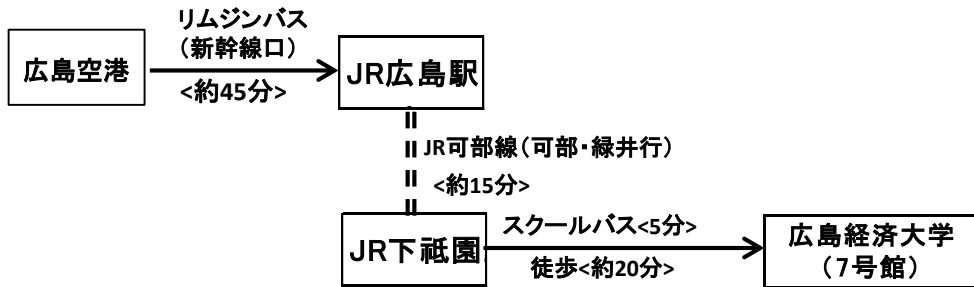
■大会会場へのアクセス

電車をご利用の方

- JR広島駅よりJR可部線下祇園下車スクールバスで5分(土曜日は運行)、日曜日は臨時時刻表で運行、徒歩約20分

スクールバス乗り場 <http://www.hue.ac.jp/access/images/syuuhenchizu2.pdf>

土曜日のスクールバス時刻表 <http://www.hue.ac.jp/access/images/h25shimogion.pdf>



※スクールバス乗場は、下祇園駅前を左側の進み

左折後、踏切を渡ったところにあります。

車をご利用の方 (広い駐車場がありますので、ご利用ください)

アクセス<http://www.hue.ac.jp/access/>

■大会会場

発表会場は7号館 (メディア情報センター) です。

学内マップ<http://www.hue.ac.jp/life/facilities/index.html>

■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格

一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。

2. 学生会員の発表条件

学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。

3. 連名者の資格

研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。

4. 発表件数の制約

同一のファーストオーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。

5. 口頭発表者の参加費支払い

口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。

6. 参加費の返還について

既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。

7. 発表のキャンセルと無断欠席

大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

第51回 日本経営システム学会 全国研究発表大会 プログラム
 (開催日:平成25年12月7日(土)・8日(日) 会場:広島経済大学
 統一論題:「ビッグデータ時代の人材育成と経営システム」)

| | |
|----------------------------------|---|
| 【12月7日(土)】 受付開始 10:30～(場所:7号館4階) | |
| 時 間 | 11:00～12:30 |
| 理事会 | |
| 時 間 | 12:30～12:45 |
| 12:45～12:50 | 実行委員 長狭 勇 広島経済大学 村山 秀次郎 金基 雄 岡山学院大学 五井 博昭 |
| 13:00～14:00 | 基調講演:「ビッグデータ時代の人材育成と経営システム」 NTTデータ ビッグデータビジネス推進室 部長 中川 廉一郎 司会: |
| 14:10～15:10 | 特別講演:「地域の特色を生かし、特産品をつくり、それを活かす」 有明会社 平田 昭光 黒田 代表取締役会長 平田 克明 司会: |
| 15:10～15:20 | 休 憩 |

図書館4階新1会議室

A会場 7号館2階721教室

休 憩

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|-----------------|----------------------------------|--------------------|-------------------------------|-----------------------|-------------------------------|-----------------------|-----------------------------|-----------------------|------------------------|---------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|-----------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|
| A会場 (一般:7号館2階721) | 時 間 | 15:20～15:50 | B会場 (一般:7号館3階731) | 時 間 | 15:50～16:20 | C会場 (一般:7号館3階732) | 時 間 | 15:50～16:30 | D会場 (一般:7号館3階733) | 時 間 | 15:50～16:30 | E会場 (一般:7号館2階722) | 時 間 | 15:50～16:30 | F会場 (学生:7号館2階723) | 時 間 | 15:50～16:30 | G会場 (学生:7号館2階724) |
| 統一論題: 企業・消費者の両面評価による競争優位の実現 | *神戸学院大学 今野 勤 | 特別講演: 人と学生との協働学習によるインテリジェント社会 | *香川大学 長尾 敬史 | 非認知能力の育成と実践を照らすことによる医療従事者の一考察 | *安田女子大学 馬 上 宗一郎 | 非認知能力の育成と実践を照らすことによる医療従事者の一考察 | *安田女子大学 馬 上 宗一郎 | 共有ストーリーをもつ組織立セルの構成と運営に関する研究 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 木村 有寿 松富 運夫 大谷 崇 | 輸送型線形計画問題を用いたタクトシフト問題の最適化 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 輸送型線形計画問題を用いたタクトシフト問題の最適化 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 共通ストーリーをもつ組織立セルの構成と運営に関する研究 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 輸送型線形計画問題を用いたタクトシフト問題の最適化 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 |
| 特別講演: 人と学生との協働学習によるインテリジェント社会 | *香川大学 長尾 敬史 | 非認知能力の育成と実践を照らすことによる医療従事者の一考察 | *安田女子大学 馬 上 宗一郎 | 共有ストーリーをもつ組織立セルの構成と運営に関する研究 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 輸送型線形計画問題を用いたタクトシフト問題の最適化 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 共有ストーリーをもつ組織立セルの構成と運営に関する研究 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 木村 有寿 松富 運夫 大谷 崇 | 輸送型線形計画問題を用いたタクトシフト問題の最適化 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 輸送型線形計画問題を用いたタクトシフト問題の最適化 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 共通ストーリーをもつ組織立セルの構成と運営に関する研究 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 | 輸送型線形計画問題を用いたタクトシフト問題の最適化 | *近畿大学 近畿大学 近畿大学 |

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 休 憩 | 16:10～16:20 | 休 憩 | 16:30～16:50 | 休 憩 | 16:50～17:10 | 休 憩 | 17:10～17:30 | 休 憩 | 17:30～17:50 | 休 憩 | 17:50～18:30 |
| ピアレビューのブラッシュアップに関する生活意識の調査分析 | *大阪国際大学 石井 康夫 王 磊 | ピアレビューのブラッシュアップに関する生活意識の調査分析 | *大阪国際大学 石井 康夫 王 磊 | ピアレビューのブラッシュアップに関する生活意識の調査分析 | *大阪国際大学 石井 康夫 王 磊 | ピアレビューのブラッシュアップに関する生活意識の調査分析 | *大阪国際大学 石井 康夫 王 磊 | ピアレビューのブラッシュアップに関する生活意識の調査分析 | *大阪国際大学 石井 康夫 王 磊 | ピアレビューのブラッシュアップに関する生活意識の調査分析 | *大阪国際大学 石井 康夫 王 磊 |

| | | | |
|---------------|-------------|---------------|-------------|
| 休 憩 | 18:30～17:50 | 休 憩 | 17:50～18:30 |
| 懇親会(学生ホール・食堂) | | 懇親会(学生ホール・食堂) | |

【12月8日(日)午前】受付開始 8:30～(場所:1号館1階)

| | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|--|
| 9:00～9:30 | B会場 (一般:7号館3階731) 産学連携による消費者への商品品質向上 * 愛知工業大学 山田 洋巳 * 愛知工業大学 宇佐美真史 * 愛知工業大学 寺本 和幸 | C会場 (一般:7号館3階732) 産学連携による社会イノベーション * 常盤大学 村中 均 | D会場 (一般:7号館3階733) カハチシステムにまつてく人口減少時代 の自治体経営の課題 * 東京大学 本田正美 * 早稲田大学 黒須 誠治 * 香川大学 塚田 修 | E会場 (学生:7号館2階723) 経営品質向上研究部会: 大塚賞メーハ組織としてのSEKO グループ * 明治大学 村山 誠 * 明治大学 山下 洋史 * 山梨学院大学 金子 勝一 | F会場 (学生:7号館2階724) 引用権がクラウドロイヤリティに与える 影響を産した消費者購買行動モデル の構築 * 早稲田大学 小林 祐貴 |
| 9:30～10:00 | Inspections for a Computer System to Deal with Backup Operations * 愛知工業大学 Xufeng Zhao * 愛知工業大学 Yanwen Li * 愛知工業大学 Tetsuhisa Oda | インベションの変化—米国における ソリューション・インベションの発展 * 筑波大学 三森 八重子 | 新製品「抗痘利バソーム」開発の可 用化—定量化—RCOMの開発過程への 適用 * ションケルコンサルティング 落合 以臣 常田 稔 | 経営品質科学研究部会: 「鳥名思考」による地名の底エントロ ピー—ヒートと冷却 * 明治大学 下林 大造 * 明治大学 榎 善書 * 明治大学 山下 洋史 | 公共工事発注におけるコンストラクショ ンマネジメント方式の契約設計に関する研 究 * 早稲田大学 松元 真志 * 早稲田大学 大野 高裕 |
| 10:00～10:10 | 東日本大震災後の石巻市へのICT職 務配置 * 石巻専修大学 森源 環 * 東北大学 安田 一彦 | SNSデータをを用いたソーシャルグラ フ活用の研究 * 横浜国立大学 永松 陽明 | 流通システムの透明化と営業マネジ メント改革に関する考察 * 北海道大学 鎌田 直矢 | 経営品質科学研究部会: 日中地産アハル企業の経営戦略 の比較 * 愛知工業大学 藤 尚燕 * 愛知工業大学 岡崎 一浩 | 東京証券取引所におけるマニフェストイ カー方式に関する分析 * 早稲田大学 田山 諭 * 早稲田大学 大野 高裕 |
| 10:10～10:40 | 災害とJIT—自動車産業のサプライ チェーンへの影響— * 新潟国際情報大学 佐々木 桐子 | 共同研究ネットワークにおけるソ リューション輸出システムの分析 * 東京工業大学 藤 祐司 | 異文化環境下における情報セキュリ ティ管理のためのエンクリプションの開 発 * 中京学院大学 淺井 達雄 | 経営品質科学研究部会: 上海企業と武田薬品工業において の比較 * 愛知工業大学 藤 健 * 愛知工業大学 岡崎 一浩 | Twitterの普及性を考慮した名刺ネット ワークへの非対称な情報伝播分析 * 早稲田大学 島居 社志郎 * 早稲田大学 鈴木 広人 * 早稲田大学 大野 高裕 |
| 10:40～11:10 | 気象予報士 佐々木 桐子 | 経営品質科学研究部会: 組立型製造業における複数品目の在 庫低減と生産平準化の課題とモデル * 気象予報士 栗原 剛 * 明治大学 山下 洋史 | 企業システムの経営品質向上に向け た新TOMの構築 * 法政大学 江崎 和博 | 経営品質科学研究部会: フィンランドと韓国の付加価値的ステイ タビリティの高さに関する研究 * 明治大学 下林 大造 * 明治大学 榎 善書 * 明治大学 山下 洋史 * 早稲田大学 風 舞 | ブランドカテゴリーセグメンテーションに基 づく調剤北アハルブランドへの消 費者意識分析 * 首都大学東京 井田 一成 * 首都大学東京 増田 士郎 |
| 11:10～11:20 | 起業家金の発見及び創造に関する事 例研究 * 九州大学 五十嵐 伸吾 * 九州大学 長平 彰夫 | 地域基盤システムを自律的に維持 する共生型経営管理モデルの設計 と評価 * 慶應義塾大学 淺 重明 | 企業システムの経営品質向上に向け た新TOMの構築 * 法政大学 江崎 和博 | 経営品質科学研究部会: 組織の「脱J」に守られたメンバーの 内部エネルギー—モデル * 明治大学 榎 善書 * 明治大学 山下 洋史 * 共学学園前橋国際大学 村山 真敬 | NW手法法によるプライベートブランド商 品需要予測の研究 * 東京大学 陳 吳基 |
| 11:20～11:50 | 企業継続における場の類型と情報フ ローの関係性について * 福岡産業経営大学 柳田 健太 | IT投資/IT資産評価における事業 価値面からのアプローチ * 新日鉄住金ソリューションズ 向 正道 | 原価予測に関して一考察 * 上海添務投資コンサルティング 何 映磊 | 経営品質科学研究部会: 分問題の2段階エンロピー—モデル * 明治大学 村山 誠 * 明治大学 山下 洋史 * 明治大学 榎 善書 | 購買行動モデルの構築 * 早稲田大学 田中 日球 * 早稲田大学 鈴木 広人 * 早稲田大学 大野 高裕 |
| 12:20～13:20 | | | | | |

【12月8日(日)午後】午後13:20～

| | | | | | | |
|-------------|--|--|--|--|--|---|
| 13:20～13:50 | B会場 (一般)7号館3階731) 意味交渉としての戦略伝播 | C会場 (一般)7号館3階732) 太陽光発電システムにおける発電量の推定に関する研究 | D会場 (一般)7号館3階733) 経営品質研究部会 大生におけるSNS評価の分析モデル | E会場 (一般)7号館2階722) 特許情報を用いた知識の出所及び備忘書に関する分析手法の構築 | F会場 (学生)7号館2階723) 駅力階級を用いた土地の鉄道交通手段別選好の求めかた | G会場 (学生)7号館2階724) 遠近的アロウリスを用いた宅配便ルート決定方式の研究 |
| | * 愛知産業大学 星 和樹 | * 千葉工業大学 小野 浩之 * 千葉工業大学 原 洋平 * 千葉工業大学 白井 裕 | * 共愛学園前橋国際大学 村山 真哉 * 明治大学 山下 洋史 | * 東北大学 河合 毅治 * 東北大学 長平 彰夫 | * 千葉工業大学 原 洋平 * 千葉工業大学 大田 颯 * 千葉工業大学 小野修一郎 * 千葉工業大学 白井 裕 * 千葉工業大学 小野 浩之 * 千葉工業大学 三代川田配子 | * 東海大学 中丸 博嗣 * 東海大学 水野 浩孝 * 東海大学 森山 弘海 |
| 13:50～14:20 | HerzbergのM因子とH因子による組織活性化のカスタロフイー・モデルの差別化 | 後奈良大学メカニズムにおける液晶ハネルトとガラスマハネルの比較 | 経営品質科学研究部会 二者間の合形成モジュールにおける弊の特性に關する研究 | * 立命館大学 前川 知浩 * 立命館大学 小田 哲明 | * 香川大学 緒方 悠太郎 * 香川大学 坂倉 宏昭 * 香川大学 長尾 敏史 | * 近畿大学 菊池 賢吾 * 近畿大学 谷崎 謙二 * 近畿大学 金指 正和 |
| | * 愛知淑徳大学 上原 祐 | * 兵庫風立大学 長野 寛之 * 立命館大学 石田 修一 * 立命館大学 玄構 公規 | * 明治大学 鄭 年皓 | | 「情報」の活用による都市の成長とそれに適した環境 | |
| 14:20～14:30 | 観光支援のためのスマートフォンアプリ | | 14:20～14:50 経営品質科学研究部会 「県内広域ローカル鉄道」に関する研究 | | 創造事例の体系化に関する研究一 既知情報A/Bの関係 | 企業の環境負荷物排出量に関する環境ペーパー制度を用いた環境ポータルサイトの提案 |
| 14:30～15:00 | リケーションのユーザインタフェース設計 | 地方自治体における情報化マネジメントの成熟度モデルの研究 | * 明治大学 山下 洋史 * 明治大学 鄭 年皓 * 山梨学院大学 金子 朋一 | * 神奈川大学 藤野 佑輔 * 神奈川大学 松丸 正延 | * 千葉工業大学 原 洋平 * 千葉工業大学 大田 颯 * 千葉工業大学 小野修一郎 * 千葉工業大学 小野 浩之 | * 青山学院大学 片山 伸寛 * 青山学院大学 熊谷 敏 * 青山学院大学 金子 雅明 |
| 15:00～15:30 | ハイパーサービス日本300選企業に対する地域・業種別調査分析 | 職階としての環境CSRと競争優位性の獲得に関する研究 | | | | インフラ海外輸出ビジネスのリスクマネジメントに関する考察 |
| | * 近畿大学 片岡 隆之 * 近畿大学 合崎 隆士 | * 東京情報大学 池田幸代 * 東京情報大学 中尾 宏 | | | | * 立命館大学 鍋島 充 |
| | | | | | | 医薬品業界に求められる企業の社会的責任 |
| | | | | | | * 駒澤大学 鈴木 貴大 |
| | | | | | | SNSの普及要因に関する研究 |
| | | | | | | * 同志社大学 油井 毅 |

第 17 期会長に就任のご挨拶

日本経営システム学会 第 17 期会長 石井博昭

日本経営システム学会の皆様 関西学院大学の石井です。今回、会長に選ばれて大変光栄に思うとともに身の引き締まる思いです。会員になってから 10 年ぐらいの年だけはとっている“若輩”ものですが皆様のご支援のもと、当学会の発展に全力を尽くす所存です。

私が当学会に入ったのはもちろん誘われ断りきれなかったからですが、私が大好きな文理融合の学会であると思ったからです。マルクスの量的変化は質的変化をもたらすという言葉にも象徴されるように、定性的であるだけでなく定量的な議論が必要であると思っています。これはお話だけではなく、具体性が必要という意味でもあるかと思われます。一方数式はその意味を説明することが必要であります。特に経営システムには、その特性から数式が導かれることが多いと思います。要するに考え方が重要だということだと思います。

どの学会も昨今は会員数の減少、経費増大で苦しんでいます。また、賛助会員は特別な学会を除いて、軒並み退会という事態が続いています。当学会は最近会員数が増加していましたが、ここにきて足踏み状態になっています。この問題の解決には研究活動、特に学会誌の“社会的評価”が重要です。幸い、当学会の学会誌は高い評価を得ていると思います。一方で英文誌である IJAMS の方はまだ認知度が低く、苦戦をしているのが現状です。当学会の国際化に向け、前会長の松丸先生の英断で創刊されましたが、当学会の国際会議である ICBI の後の刊行以外はもう 1 つです。編集委員長であった私の責任でありますし、IJAMS の活性化が重要な課題と思っています。将来には SCI、あるいは SSCI journal となるように努力いたします。関連して、来年度には佐藤先生、立川先生、柳田先生を初めとする準備委員会の皆様のご尽力により 3 回目の ICBI が開かれる運びになっています。このような国際会議は他の学会には見られない当学会の大きな強みであります。この国際会議がますます発展してほしいと思っています。

以上長々と書きましたが、学会員の皆様のお力添えを得て、全力で学会のため頑張っていきたいと思っています。

地域デザイン学会関東・山梨・長野地域部会

第 3 回研究会のご案内

(共催) 日本経営システム学会地域デザイン研究部会・日本情報経営学会関東部会

開催日時：2013 年 12 月 14 日 (土) 15:00-17:00

開催場所：東海大学代々木キャンパス 4 号館 4414 教室

東京都渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL:03-3467-2211

小田急「代々木八幡」「代々木上原」、井の頭線「駒場東大前」、千代田線「代々木公園」いずれからも徒歩 10 分

プログラム：15:00～15:05 関東・山梨・長野地域部会長挨拶

15:05～16:05 特別講演 望月昭氏 (景観デザイナー・造園家)

「風と大地と緑のデザインーデンマーク・ランドスケープを知る 11 の視点」

16:15～17:00 研究発表①

「食文化デザインートーキョーカフェスタイルにみるコンテクストデザイン」

青山忠靖 (㈱アーベインクルー)

17:00～17:45 研究発表② 「脱観光型旅行のデザイン」

原田保 (多摩大学)

17:45～17:50 連絡事項

18:00～19:30 懇親会 (4 号館 2 階食堂)

研究会参加費 500 円、懇親会参加費 3,500 円

【参加の事前申し込み方法】

下記の参加申込書を FAX されるか、同じ内容をメール送信してください

香川大学大学院地域マネジメント研究科 板倉研究室

E-mail: gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp FAX : 087-832-1988

※事前申し込みがない場合でもご参加いただけます。

〈参加申込書〉12 月 14 日研究会

| | | | |
|-------------|----|-----|-----------|
| 氏名 | 所属 | 会員 | ■懇親会 |
| E-mail アドレス | | 非会員 | 参加 不参加 |

ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2013年11月30日（土） 15:00-17:00

開催場所：日本大学 生産工学部 30号館 5F 小田部研究室

発表予定者：「プロスポーツクラブの観客動員数に関する研究」

安松大悟(明治大学)・山下洋史(明治大学)・栗原剛(気象予報士)

「県名思考の弊害に関する研究」

下林大造(明治大学)・権善喜(明治大学)・山下洋史(明治大学)

「準ライン優位組織におけるラインのステイタスに関する研究」

下林大造(明治大学)・権善喜(明治大学)・山下洋史(明治大学)・臧巍(早稲田大学)

連絡先(幹事)：金子 勝一(山梨学院大学) Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

JAMS/JAIMS ICBI 2014 国際大会の発表者募集

本学会が主催する国際大会 ICBI2014 の発表者・参加者を募集しています。奮ってご応募いただけますよう、ご案内申し上げます(暫定版)。

記

| | |
|-----------------|--|
| 開催日 | 2014年9月2日～4日(未確定) |
| 開催場所 | 米国ハワイ州ホノルル市 JAIMS 校舎(未確定) |
| 統一論題 | “Management Systems for Cooperative Business Applications” |
| 発表の条件 | 経営・システム・情報・管理に係わる内容で未発表のもの。 |
| 発表申込締切 | 2014年2月28日 表題と要旨。要旨は英文1,000字以内とする。発表の可否は審査により決定される。 |
| 採択通知予定 | 2014年3月31日 採択論文の口頭発表者は事前参加登録をしなければならない。事前参加登録がない場合は発表をキャンセルする。ファーストオーサーとしての口頭発表は、一人1件までとする。 |
| 予稿原稿締切 | 2014年5月31日 IJAMS の書式で作成する。刷り上がり4頁以上。予稿書式は(http://www.jams-web.jp/en/ijams.html)参照。予稿は PDF 文書として、大会当日に USB メモリで参加者に配布する。 |
| 事前参加登録締切 参加費 | 2014年5月31日 (昼食・懇親会費を含む)事前登録3万円、当日現地申込4万円。参加費は予稿 USB メモリ、予稿掲載料、大会当日の会場費・昼食・レセプションを含む。 |
| 大会運営委員長 | 石井博昭(本学会会長、関西学院大学) Blair M. T. Odo, Ph.D (JAIMS 校長) |
| 大会実行委員長 | 佐藤修(東京経済大学) Blair M. T. Odo, Ph.D (JAIMS 校長) |
| 実行委員 | 柳田義継(本学会大会委員会委員長、横浜商科大学) 佐々木桐子(本学会大会委員会副委員長、新潟国際情報大学) 立川大和(戸板女子短期大学) 寺本佳苗(富山短期大学) 立川丈夫(横浜商科大学) |
| 詳細情報 | 大会ウェブページ http://www.jams-web.jp/information/icbi2014/ |
| その他 | 正確な開催日・開催場所は確定次第、上記ウェブページに掲示する。次号 JAMS NEWS にも掲載予定。 |
| 問い合わせ先 | icbi2014@gmail.com |

科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センター(CRDS)
設立 10 周年記念シンポジウム

日 時：平成25年12月3日(火) 13:30~17:30 (開場 13:00)
場 所：日本橋三井ホール (東京都中央区日本橋宝町 2-2-1 COREDO 室町)
参加費：無料 (事前申込が必要です)
定 員：500 名
主 催：独立行政法人 科学技術振興機構
後援 (予定)：内閣府、文部科学省、産業競争力懇談会
詳細と参加申込は下記ホームページをご覧ください。
<http://www.d-wks.net/crds131203/>

専任教員公募のご案内

学会 Web サイトに掲載されている教員公募についてご案内させていただきます。公募に関する詳細は、学会 Web サイト (<http://www.jams-web.jp/>) のトップページにリンクがありますので、ご参照下さい。

- ・東海大学 専任教員公募のご案内 (准教授・講師、応募締切り 2013 11/09)
<http://www.jams-web.jp/images/koubotoukai2013.pdf>

入会者リスト

(2013. 3. 19~2013. 9. 2)

1. 正会員入会者

| 氏 名 | 所 属 | 氏 名 | 所 属 |
|--------|---------------------|-------|-----------------|
| 田村 泰一 | 早稲田大学 大学院 | 朴 唯新 | 県立広島大学 |
| 馬上 宗一郎 | (学) 安田学園 安田女子 大学 | 高橋 諒 | (株)ベネッセコーポレーション |
| 坂本 孝司 | 愛知工業大学 | 本田 正美 | 東京大学 大学院 |
| 小林 俊哉 | 九州大学 | 仲野 久利 | 日本インター(株) |

2. 学生会員から正会員へ変更

| 氏 名 | 所 属 | 氏 名 | 所 属 |
|-------|----------|-------|-----------|
| 中嶋 秀幸 | AGS(株) | 李 政 | 凸版印刷(株) |
| 光益 彰 | 一橋大学 大学院 | 三橋 章男 | パナソニック(株) |

3. 学生会員入会者

| 氏 名 | 所 属 | 氏 名 | 所 属 |
|-------|-----------|--------|------------|
| 江頭 大 | 法政大学 大学院 | 田口 拓弥 | 東京大学 |
| 吉井 裕之 | 法政大学 大学院 | 白 雲栄 | 大阪国際大学 |
| 片桐 邦彦 | 立命館大学 大学院 | 江原 直太郎 | 千葉工業大学 大学院 |
| 藤野 佑輔 | 神奈川大学 大学院 | | |



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム 703
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
E-Mail:keieisys@hh.ij4u.or.jp